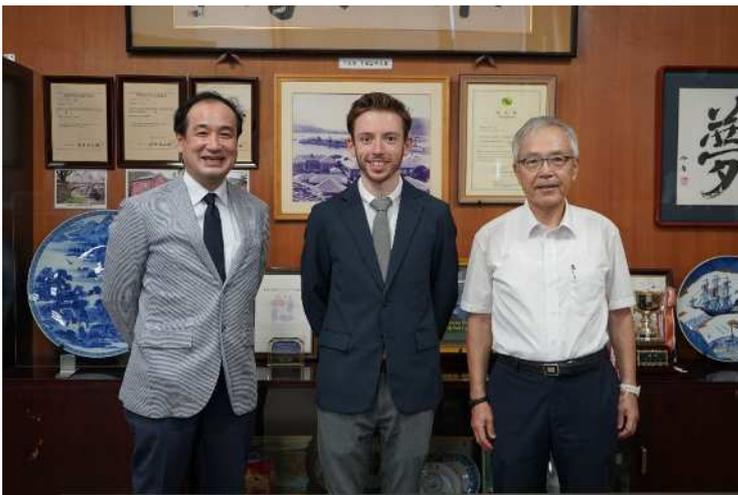


NUMF（長崎大学医学研究基金）
による研究者の受入れについて

（2022 年度）

長崎大学医学部では、学术交流協定を締結しているライデン大学（オランダ）及びヴュルツブルグ大学（ドイツ）との研究者レベルの更なる交流推進を図るため、2021 年年4月より、両大学からの派遣研究者に渡航・滞在費（3ヶ月間）を支援する「長崎大学医学研究基金奨学金（通称：NUMF 基金）」を設け、研究者を受け入れることとしました。

2021 年は、本基金初となる、ライデン大学 Enzo Kerkhof さんを移植・消化器外科の江口晋教授のもとで受入れを予定していました。しかしながら、コロナ感染症拡大に伴い、翌年の2022 年 4 月 6 日～6 月 30 日の期間に来日し、“Development of artificial intelligence (AI) based laparoscopic apparatus and AI installed software for foreign body checking.（人工知能（AI）を搭載した腹腔鏡装置と AI 搭載の異物チェック用ソフトの開発）”について研究を行いました。



左より江口教授、Enzo さん、河野学長

2022年はまた、ライデン大学より Jonne Versluijs さんと Claudia Rossi を受入れました。健康と老化コースの修士課程に在籍の Jonne さんは、4月28日～6月30日の期間において、地域医療学の永田康浩教授のもと“離島における生活習慣病の疫学に関する研究”について研究を行い、離島での健診にも参加しました。研究の最後には、“長崎県における高齢者の主観的健康に及ぼす人口統計学的、医療的ケアおよびライフスタイル要因の影響 (Influence of demographic, medical care and lifestyle factors on subjective health of the aging population of Nagasaki prefecture in Japan)”と題して、研究発表を実施しました。健康と老化コースの修士課程に在籍の Claudia さんは、5月11日～7月11日および令和5年4月10日～6月18日の期間において、腫瘍医学の池田裕明教授のもと、“がん免疫学に関する研究”について研究を行いました。



左より池田教授、Claudiaさん、池松医学部長、Desiréeさん、永田教授